

平成28年度学校運営計画書




学校名 紀之川中学校 校長名 加藤 正彦 作成日 平成28年 4月27日

学校教育目標
 あなたがいてよかったと言われる人になろう

育てたい子ども像
 自ら求める生徒

自ら省みる生徒

自ら創る生徒

	開かれた学校 	ゆたかな心 	確かな学力 
本年度の重点目標	地域の人材を活用する。 地域の人々や保護者が、いつでも学校を訪れることができるような開かれた学校づくり。 情報を積極的に発信する。	道徳の時間の充実を図る。 学校行事等を通じて、豊かな体験活動を推進する。 教師と生徒、生徒同士の人間関係作りに努める。	学力の課題を明らかにし、指導方法の工夫改善に努める。 基礎・基本の定着を推進する。 特別支援教育を充実させる。 キャリア教育を推進し、将来の生き方を考え、進路選択ができるようにする。
目標達成に向けた具体的方策	学校行事や総合的な学習の時間において、地域の人材を積極的に活用する。 学校行事や授業参観、学校開放月間等に保護者や地域の人々の参加を促す。 地域の協議会等への参加を積極的に行う。 ホームページを随時更新や学年通信、学級通信等を通じて情報発信に努める。	道徳の授業を学校運営の柱の1つとして位置づけ、資料の活用等を研究し、さらなる充実を図る。 文化祭や体育祭等の学校行事を通じて生徒相互の集団づくりの中で心を育てる。 教育相談や授業時、昼食時、部活動時等様々な場を活用して、生徒理解に努める。 あいさつ運動等を通じて教員と生徒の交流を行う。	学びの共同体による授業改善を推進する。 朝の読書活動を学校全体で取り組み、学習意欲の醸成につなげる。 家庭学習の習慣を身に付けさせるため、宿題の取組を進める。 長期休業中に、学習支援を実施し、基礎基本の定着を図る。また、和歌山大学の学生による放課後学習を実施する。 すべての教員が特別支援教育の重要性を認識し、実践を行えるように、現職教育を計画的に実施する。 職場体験等の活動を実施し、進路指導を系統的に行う。